

神戸で各地区代表会議と懇親会

第49回福建同郷懇親会上海大会の中止で

第49回旅日福建同郷懇親会を主催担当する(社)福建同郷会(神戸、石雅之理事長)の招集による各地区代表者会議と懇親会が、日本各地15地区の福建同郷会代表と地元神戸の代表併せて五十余名出席のもと十一月十三日神戸で開催された。

各地より出席の代表各位に謝意を表すとともに、新型インフル大流行の最中、参加者の健康と安全、懇親会の円満な運営等々の面を熟慮した結果、余儀なく「上海大会」の中止の決定に至った。経緯を説明し、各地同郷各位の理解に改めて感謝の意を表した。

会議は岡山地区の劉勝徳氏を議長に選任して議事に入り、すでに開催担

本年の福建同郷懇親会はもとも神戸地区の担当で十一月十二日から上海で挙行される予定だったが、新型インフルエンザ大流行により余儀なく中止となったため、今回の各地区代表者会議と懇親会開催に至ったもの。

各地区代表者会議は当日午後四時から神戸・中華会館で開催され、林同福氏が司会進行を務めた。

冒頭、郷物故者に対する黙とうが捧げられたのち、各地区代表の紹介が行われた。

席上、第49回大会の責任者石雅之氏と林文明氏が相次いで挨拶に立ち、



第49回旅日福建同郷懇親会神戸大会 2009年11月13日 於(社)中華会館

各地区代表会議に出席の各地福建同郷会の代表たち

当地区が決定している第50回大会(東京)と51回大会(京都)について準備状況の報告と意見交換が行われた。

第50回大会担当の留日福建同郷会(東京)より張仁猛会長と謝忠勇事務局長が、来年十月中旬を目途に東京のご真ん中お台場のホテルをメイン会場に東京湾アクアラインの「海ほたる」見学などを含む二泊三日の日程で開催準備を進めている旨の中間報告があった。日程について、例年十月中旬開催の京都普度勝会と重複しないよう配慮して欲しいなどの要望が出され、こうした要望に配慮し準備を進めていくとの表明があった。

京都地区担当の51回大会については、開催地選定などこれから検討して具体化していくとの報告があった。

第52回大分、53回横浜で

今後の懇親会開催担当地区決定

会議は二〇一二年と一三年の第52、53回大会の開催問題について検討した。大分地区の黄梅雄代表より「52回大会を大分では是非開催したい」旨の申し出があり、各地代表の歓迎と支持表明により満場一致で承認決定され

閉会にあたり、王銳輝氏が神戸地区を代表してお礼の挨拶をのべた。

神戸の石雅之氏から大会旗を引き継ぐ東京の張仁猛氏



次いで大会旗・鍵の引き継ぎ式が行われ、神戸地区の石雅之氏と林文明氏から東京地区代表の張仁猛、陳錦源両氏にそれぞれ手渡された。大会旗・鍵の引き継ぎを受けて張仁猛氏は「各地同郷のみなさんに喜んでもらえるよう来年の東京大会を立派に開催します」との意欲を表明した。

開宴に臨み、福建僑胞の長老で福岡地区代表の林其根氏が乾杯の労をとった。懇親会では在日華僑華人芸術家による中国の歌曲や民族舞踊が披露され、懇親会に華を添えた。各地区の代表たちは和やかに打ち解けた雰囲気の中で歓談、会食のひと時を楽しくすごし、李雲精氏の閉会の辞でお開きとなった。

懇親会閉会后、各地の代表と神戸地区の代表たちは、南京町の「東栄酒家」で引き続き懇親交流を深めあった。

会議と懇親会に参加の各地代表たちは十四日朝宿舎となった「ホテル東急ヒズフォート神戸元町」を離れ帰途についた。